

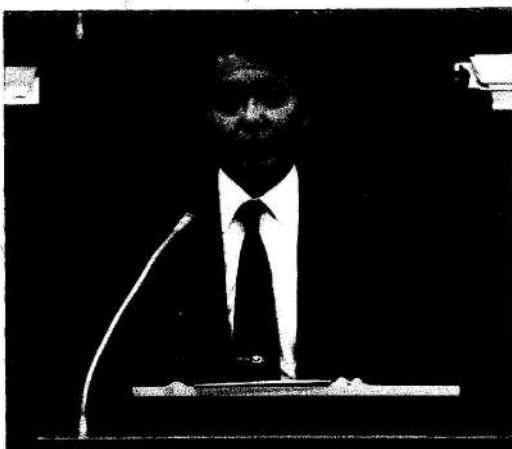


誠心ファミリー

第
19
号

発行日 平成25年4月16日(火)
発行者 誠心会会长 下岡千津子
吳市本通6-2-23 ☎/FAX 0823-25-0460
谷本誠一 E-mail:sss2001@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/sss2001/>

予算総体質問 債務償還計画の策定を！



▲予算総体質問を行う谷本誠一議員

私は、5ヶ年の吳市財政集中改革期間が平成24年度末で終了するのを受け、3月5日の自然共生党として初の予算総体質問で、それに変わる財政健全化計画の策定を提案しました。それは、債務償還計画です。

私が初当選した平成7年当時の一般会計債務残高は、628億円、平成25年度末では1,320億円です。この間箱物を造り過ぎたツケが回り借金が膨れ上がりました。

これに先立ち私は、岐阜県郡上市を視察し、債務負担適正化計画の実践を学んで参りました。ここでは、

更に新規債務の年度毎の上限を定めるキャップ制を導入。私は計画策定と併せ、3年一括方式でのキャップ制も提言しました。



◀ 視察先の郡上市で

家庭ごみ収集業務民営化が始動



▲市職員による家庭ごみの収集現場

交通局民営化の次は、家庭ごみ収集業務の民間委託です。平成23年6月定例会の一般質問で私が要望した「官から民へ」の構造改革路線を受け、1年後に吳市アウトソーシング推進計画が策定されました。

それに基づき25年度から、家庭ごみ収集路線の約15%において、民間委託がスタートしました。今後退職者不補充を継続し、委託枠を増やしていきます。

また、私が以前から提唱していた、収集車への3人乗車から2人乗車体制への一部移行も実現しています。

(25年度補正予算)新庁舎建設早期再入札で賛成討論！

4月12日に収集された臨時会に、2月に不調に終わった新庁舎建設に係る入札のしきり直しを行うための25年度補正予算が提出されました。私は、これまでペールに包まれていた2点を浮かび挙がらせて、賛成討論を行いました。

①公共建築工事積算基準が7月に改定され、

施工単価や労務単価が上がる。②消費税法の特例措置で、25年9月末までに請け負い契約を締結すれば、消費税が8%にアップされても、既存税率のままでの支払いが可能。



◀ 新庁舎の模型

一般質問 吳広島空港線復活に税金投入は疑問



▲定例会の度に登壇する谷本議員

谷本議員は自然共生党として、平成24年6月、9月、12月各定例会において、全て**一般質問**を行いました。

中でも12月には、**交通局民営化**に先立ち、22年度末で廃止した**吳広島空港バス路線**を、僅か2年後に税金を投じて復活する突然の施策展開に、政策のぶれを指摘しました。

その後25年度予算には 726億円の補助金が計上されました。しかも 363億円は県が協調補助するというのですが、これは社会実験用に1年間限りになる可能性が高いと睨んでいます。東広島呉道が26年度末に全線開通するのを待って、尚且つ半年程度の社会実験を行い、投資効果を十分見極めてから復活の是非を慎重に判断すべき、と訴えました。



▲生育が不十分な両城小の芝生

校庭芝生化は教育理念と矛盾

24年6月定例会で谷本議員は、**市教委定例会議**の公開化を要望した結果、同ホームページに初めて**傍聴案内**が掲載されました。その際指摘した**校庭芝生化**の警固屋小、両城小におけるモデル事業は失敗したことが判明しました。

それを受け、25年3月定例会での予算総体質問でこれを再度採り上げた谷本議員は、芝生化しないと児童が校庭で遊ばないのは、教育理念の欠如であると叱責しました。

生ごみリサイクル野菜作りが安浦でモデル実施



▲市立保育所で土づくりを園児が体験

谷本議員が24年6月定例会で訴えていた、生ごみを土壤に混ぜる**虫のつかない**栄養素満点の野菜作りが、市立の安浦中央保育所で初めてモデル実施されました。

11月20日に同保育所で開催された**公開保育**で、提唱者の吉田俊道氏を招き、園児達が体験活動し、多くの市立保育士が学びました。収穫野菜を給食の献立に活かし、風邪に負けない元気な園児が育つことや、環境啓発、他の保育園への展開に期待が持たれています。

予算論 中学校給食の共同調理場に合併債活用を

25年3月定例会最終日の25日と前日の**予算委員会**。谷本議員は新年度予算に関し、2点の要望を踏まえ討論しました。

先ず、新年度に策定される**中学校給食基本構想**に関してです。

- ①廃校跡地等の市有地に共同調理場を建設する。
- ②調理場建設を**合併建設計画**に取り込み、国から元利償還に支援が受けられる**合併特例債**を活用する。

次に**資源集団回収団体報償金**について、呉市が**分別収集**を委託している団体に加盟している事業者との取り引きに特化するのではなく、**指定業者制度**を導入すべきと訴えました。



▲民間委託による資源物回収車



▲本会議で論陣を張る谷本議員

議案質疑 持ち家手当廃止は即刻実施すべき！



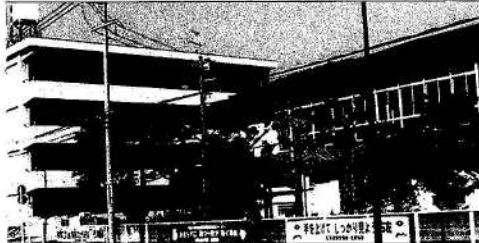
▲本会議で議案質疑する谷本議員

25年3月5日での議案質疑において、以前から要求していた持ち家手当廃止について谷本議員は、生ぬるさを指摘しました。これは持ち家のある呉市職員にも住居手当の一貫として、月額6,500円を支給するもので、それを25年度は暫定措置として半額に、26年度から全面廃止します。

市内では大手企業の一部しかこの種の手当はなく、即時廃止しなければ市民の理解が得られないと訴えました。残業手当の無制限支給についてもその在り方を糾しました。

公共施設使用料の不公平是正

24年12月5日の公共施設使用料改定で谷本議員は議案質疑。入場料徴収における施設使用料が通常は1.5倍になっているのを、きんろうプラザのみが3倍になっている問題を指摘しました。その上で25年度から同一施設であるビューポートくれと併せ1.5倍にするとの答弁を引き出しました。



▲有料で借りられる市立学校施設



▲ホテル複合のきんろうプラザ

一方、24年3月の予算委員会で要望していた、市立学校での施設使用料の矛盾解消については、25年度から実施することになりました。

これは、スポーツ使用は1時間400円に対して、文化使用は800円だったのです。今後はどちらの使用でも1時間500円に統一され、利用者の不公平感が払拭されます。

食品の放射性物質含有量検査を新年度予算化

24年12月の一般質問で谷本議員は、食の安全意識の高まりを受け、食品の放射性物質含有量の検体検査を呉市独自に実施し、ホームページでの公開を迫りました。

呉市は福島第1原発から離れているため、過去後ろ向きな答弁に終始して来た経緯があります。その結果当局は新年度予算を計上し、25年3月15日の予算委員会で谷本委員はその中身を確認。放射能汚染対策が一步前進しました。



▲予算委員会で質問する谷本委員



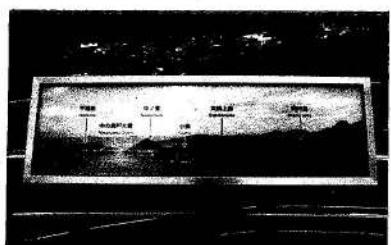
▲市役所本庁舎駐車場の管理棟跡

本庁舎駐車場の無人化を実現

呉市役所本庁舎の駐車場が機械化されたのは平成19年8月。しかし、無人化したにも関わらず2人体制から1人体制になっただけです。当初から谷本議員は、広市民センター同様無人化すべきと主張してきました。その結果24年度から無人化が実現。年間約205万円が節約できました。

御手洗「丘公園」に風景板を設置

谷本議員の要望を受け呉市は、25年3月29日、御手洗にある歴史の見える丘公園に風景板を設置。併せて、同公園から県道への結節点に沖友方面を含めた案内標識を新設しました。



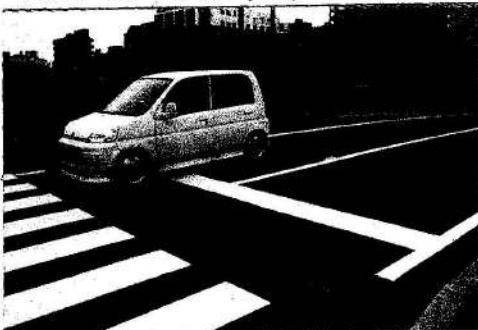
▲絶景の眺望

平成24年度谷本誠一、地域課題をこまめに

①五月橋車道路面の段差解消舗装

H24. 5月中旬

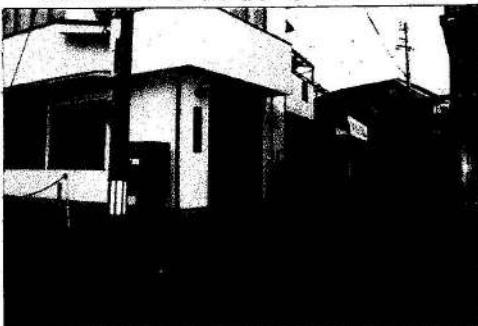
中通に向かう五月橋上において、アスファルト隆起による車両通行の際の段差振動を解消。



③郷町自治会館前の狭い市道を拡幅

H24. 6月初旬&30日

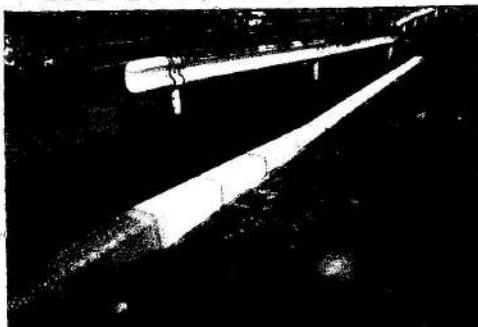
狭い市道から広い市道への出口で車両通行を便利にするため、会館玄関前を削り電柱も移設。



⑤臼新製鋼付近の歩道段差を解消

H24. 7/20~21

歩道から車道へスムーズに渡れるよう、歩道に緩やかな傾斜をつけ通行人の安全確保を図る。



⑦川原石臨港道路を前倒し改修施工

H24. 10~12月

臨港道路の路面改修を翌年度施工区間を1年前倒しして施工。近隣の排水対策も万全を図る。



⑨東畠交差点への横断歩道を改修

H25. 3/5

呉越え峠へ向かう旧国道と



②今西通り本通6丁目歩道を跨

H24. 5月中旬

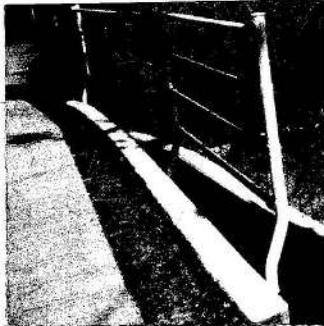
歩道路面の荒い目を解消のため、バリアフリー一点字ブロック改修に併せて数十mに亘り舗装。



④阿賀中央普通河川への転落防止柵設置

H24. 6/29

阿賀中央の山あい市道に隣接する普通河川への転落防止目的に柵を設置して通行安全を確保。



⑥押込3丁目1号線の排水対策

H24. 8/17~

山からの排水が溢水するのを防ぐため、側溝改修で市道側溝へ引水誘導し、水害防止を図る。



⑧豊栄新開に歩行者専用信号機

H25. 2月初旬

通学路である吳高専南東交差点に、歩行者・自転車専用信号機を4方向全てに設置を完了。



⑩阿賀南市道の側溝を浚渫、排

H25. 3/28

阿賀南の市道側溝に土が詰まっている

